

情報番号：20090453

テーマ：生産現場はリーダーが立て直す

編著者：中小企業診断士・技術士 西沢和夫

◆大きく変化する生産現場

「はじめに」で触れたように、生産現場が大きく揺れています。その理由として、2つの“人の変化”があげられます。

1つは、派遣社員や請負社員などの外部社員の増加です。現場リーダーの明確な指示なしには動けない、知識も経験もない外部社員が増えているのです。

次に深刻なのが、2007年から始まった団塊世代の大量退職です。これまで会社の成長を支え現場の手本として頼りになった熟練社員が消えて、代わりに配置されているのが新入社員です。新入社員も外部社員と同様に、指示待ち人間になっています。

これら人の流入によって、生産現場が大きな危機におちいる可能性が出てきています。その兆候は、生産現場の“駅前広場化”という現象に現れています。駅前広場化した生産現場には、“足元を照らす街灯”と“歩きまわる歩行者”の2種類の作業者がいます。

生産現場の乱れは、「街灯のようにじっと指示待ちする作業者」と、「道具や部品を探し回る作業者」の多さでわかるのです。

◆リーダーの成長が急務

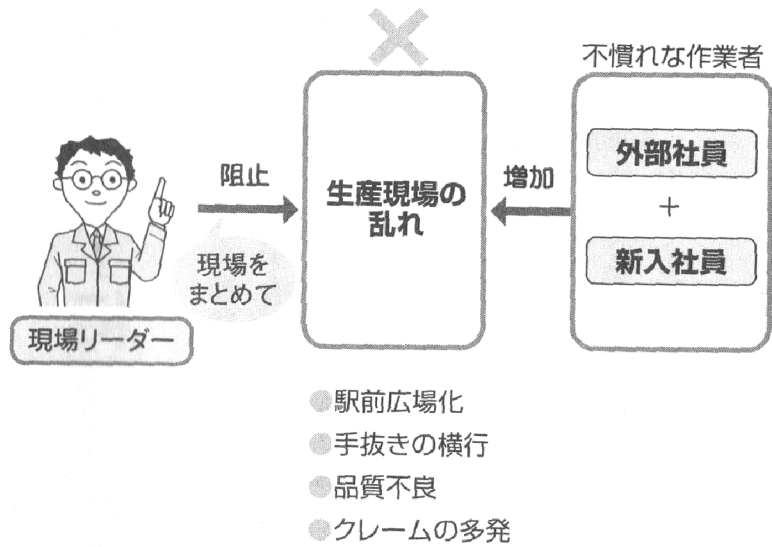
これらの作業が増えると、実際にモノをつくる時間が足りなくなります。それでも決められた生産目標をこなさなければなりません。そこで発生するのが、作業の手抜きです。手抜きは、品質不良とクレームを誘発します。

近年、品質クレームが多発している背景には、このような生産現場の人の変化があるのです。

こうした状況を阻止できるのは現場リーダーです。リーダーが生産現場をまとめれば、品質不良もクレームもなくしていきます。

そのためには、現場リーダーの成長が急務になっているのです。

●現場の乱れはリーダーが防止



(出典)

「リーダー力強化ハンドブック」
中小企業診断士・技術士 西沢和夫
かんき出版

掲載内容の無断転載を禁じます。